



学校だより

みがく きりひろく
むすぶ

令和8年3月5日 No.6



— 未来へ踏み出す春を前に —



春の気配が、校内のあちこちで感じられる季節となりました。

今年度も残りわずかとなり、明日は高等部の卒業式、そして11日は小・中学部の卒業式を迎えます。教室や廊下での子どもたちの様子から、それぞれの旅立ちが近づいていることを実感する日々です。

卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。

この一年、そしてこれまでの学校生活には、一人一人の心や行動に刻まれた、たくさんの大切な場面があったことと思います。挑戦した日、仲間と支え合った日、思うようにいかず立ち止まった日。その一つ一つに向き合ってきた経験が、皆さん自身を確かに形づくってきました。

高等部の三年間では、自分の力をみがき、地域や仲間とのつながりをむすびながら、進路を見据えて未来をきりひろくとする姿がありました。実習に向き合う中で、挨拶を大切にしたり、決められた役割や時間を意識して最後まで取り組もうとしたりする力が育ってきました。また、学校では最高学年として、学校のリーダーとしての役割を意識し、行事や日々の学校生活の中で、後輩に関わる姿が見られました。新しい環境へ踏み出す今、不安と期待が入り混じるのは自然なことです。しかし、これまで積み重ねてきた経験が、きっと次の一步を支えてくれるはずです。力強く踏み出して下さい。

小・中学部の卒業生の皆さんも、次の学部へ進む大切な節目を迎えます。日々の生活や学習の中で見せてくれたさまざまな成長は、これからの学びに必ずつながっていきます。周りの人との関わりを大切にしながら、自分の歩みを進めてください。

在校生の皆さんにとっても、今年度は多くの挑戦がありました。友だちとの関わり、行事や日々の活動の中で、自分の役割を意識しながら行動しようとする姿が見られました。そうした日常の変化の中に、教育目標「みがく むすぶ きりひろく」が確かに息づいていました。卒業していく先輩たちの背中を目標としながら、「次は自分たちの番だ」という思いを、これからの学びにつなげていってほしいと思います。

今年度も、保護者の皆さま、地域の皆さまには、本校の教育活動を温かく支えていただきました。家庭と学校が共に歩み、児童生徒一人一人の成長を見守ることができた一年でした。心より感謝申し上げます。この学校で積み重ねた時間が、それぞれの場所で、静かに力となっていくことを願っています。



校長 江口 直美

給食月間の取組



普段、給食を作ってくださる調理員さんの仕事を動画で見たり配膳室を見学したりして給食について学習しました。「調理員さんいつもありがとう」「おいしい給食ありがとう」等温かいメッセージが寄せられました。

給食月間中は、子どもたちのリクエスト給食や井手町の小中学校とコラボした ide・関西給食万博やおおきなかぶのおはなし給食等、楽しい給食が盛りだくさん!「今日の献立は何か?」と楽しく会話する姿が見られました。給食ソング「やまぶーと給食タイム」も大人気。これをきっかけに、少しでも食べることが楽しみになったり、子どもたちの世界が食から広がっていけばと思います。給食の様子は [公式・給食] 京都府立井手やまぶき支援学校 Instagram で発信しています。ぜひフォローをお願いします。(#井手やまぶき支援学校 で検索してください。)

給食×読書コラボ

給食月間と読書月間の取組として「おはなし給食」を実施しました。小学部中学年が育てた聖護院かぶらは、なんと約26kg!みんなが食べられるように、アレルギーフリーの「おおきなかぶの米粉シチュー」を提供し、放送で行った教職員7名による「おおきなかぶ」の読み聞かせクイズと合わせて大好評でした♪



読書月間の取組

おすすめ本の紹介動画を作り、一番読みたいと思った動画に投票するビブリオバトル。全校から34組の応募がありました。積極的にICTを活用した動画は、児童生徒の人柄や個性、また、本の魅力が伝わるものばかり。結果は3月2日の読書表彰式で発表します。



B-1 (ビブリオバトル) グランプリ



英語のおはなし会

ALTのエヴァリン先生に、英語の歌遊びや絵本の読み聞かせをしていただきました。先生の「思いっきり楽しみながら学んでほしい!」という情熱はどの学年の児童生徒にも伝わり、「また来てください!」という声が多数上がっていました。

